

# 新型コロナウイルス感染症対策といえば 公明党

公明党は、新型コロナウイルスワクチンの確保や無料接種を主導し、国民の約8割が2回目の接種を完了しました。現在、日本の感染状況は落ち着いていますが、海外では新たな変異株「オミクロン株」が発生し、感染は各国に広がりつつあります。

デルタ株が拡大した「第5波」の教訓も踏まえ、「第6波」に備えた医療提供体制の強化や3回目のワクチン接種、飲み薬の実用化などに公明党は全力で取り組んでいきます。

## 公明党の主張が実現しました！

### 入院受け入れ体制の強化

今夏と比べて3割増となる約3万7,000人が入院できる体制を構築するため、病床の増加や使用率の向上を進め、流行時でも十分機能する体制づくりを進めています。また、重症化リスクがある患者向けの臨時医療施設や入院待機施設も、今夏の4倍弱となる約3,400人を収容できるように増強します。

#### <入院受け入れ>

2万8,000人 → 3万7,000人 (今夏比3割増)

#### <臨時医療施設などの収容>

900人 → 3,400人 (同4倍弱増)

#### <自宅・宿泊療養者>

陽性判明の翌日までに健康観察・診療

#### <宿泊療養施設>

4万7,000室 → 6万6,000室 (同4割増)

### 3回目の無料ワクチン接種の促進



発症予防や重症化予防に大きな役割を果たしているワクチン接種。ワクチン確保への道を開き、接種の無料化を実現したのは公明党です。衆院選公約の3回目の追加接種の無料化も実現。今月より、医療従事者から順次、接種が始まりました。

### PCR等検査体制の拡充

早期発見・早期治療のため、迅速に検査できる体制構築を公明党は強く求めてきました。今般の補正予算により、感染拡大の傾向が見られる場合、都道府県知事の判断で、無料検査を実施することが可能となりました。

この無料検査は、ワクチンを接種した人や感染の不安がある無症状の人にも対象となります。

### 自宅・宿泊療養体制も万全に

ピーク時に約23万人を想定する自宅・宿泊療養者への対応では、陽性判明の当日か翌日に連絡を取り、健康観察や診療ができる体制を構築します。

家庭内感染を防ぐため、宿泊療養施設も今夏の4割増となる約6万6,000室を準備。重症化の兆候をつかむパルスオキシメーターも69万個確保し、全自宅療養者に配布する体制も整えます。



### 「抗体カクテル療法」の拡大

軽症・中等症患者の重症化を防ぐ抗体カクテル療法。当初は入院患者にしか投与できませんでしたが、早期投与が重要であることから外来や往診など多様な場面で投与できる体制を構築するよう訴え、実現しました。来年初頭までに50万回分を確保します。

### 飲み薬の開発・普及

第5波において自宅で亡くなる事例が相次ぎ、コロナ患者が自宅で服用できる飲み薬への期待が高まっています。公明党は衆院選で、飲み薬の開発・実用化を重点政策として掲げ、党を挙げて強力に推進。年内の実用化を目指すとともに、160万回分を確保します。

